

少年少女世界伝記全集

ノーベル

山下 喬子



主婦の友社版

少年少女世界伝記全集 17

ノーベル

	山 下 喬 子
	ノーベル 主婦の友社 昭和52年(1977)11月30日発行 170p 22cm 〔分類〕909

筆 者 山下 喬 子
発 行 者 石 川 晴 彦
印刷・製本 凸版印刷株式会社
定 価 480円
発 行 所 株式会社 主婦の友社

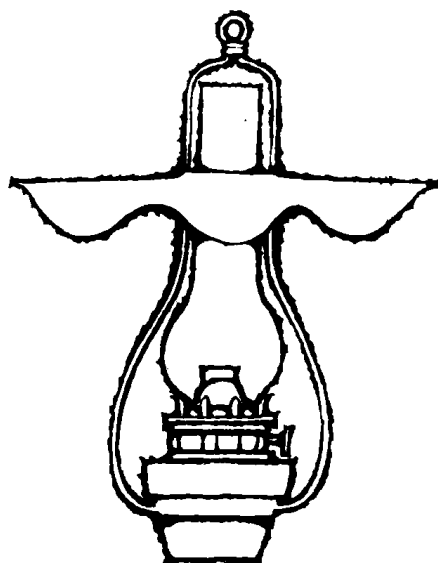
東京都千代田区神田駿河台1-6
郵便番号 101 振替 東京2-180番
電話 東京(03)294-1111(大代表)

少年少女世界伝記全集

一休さん

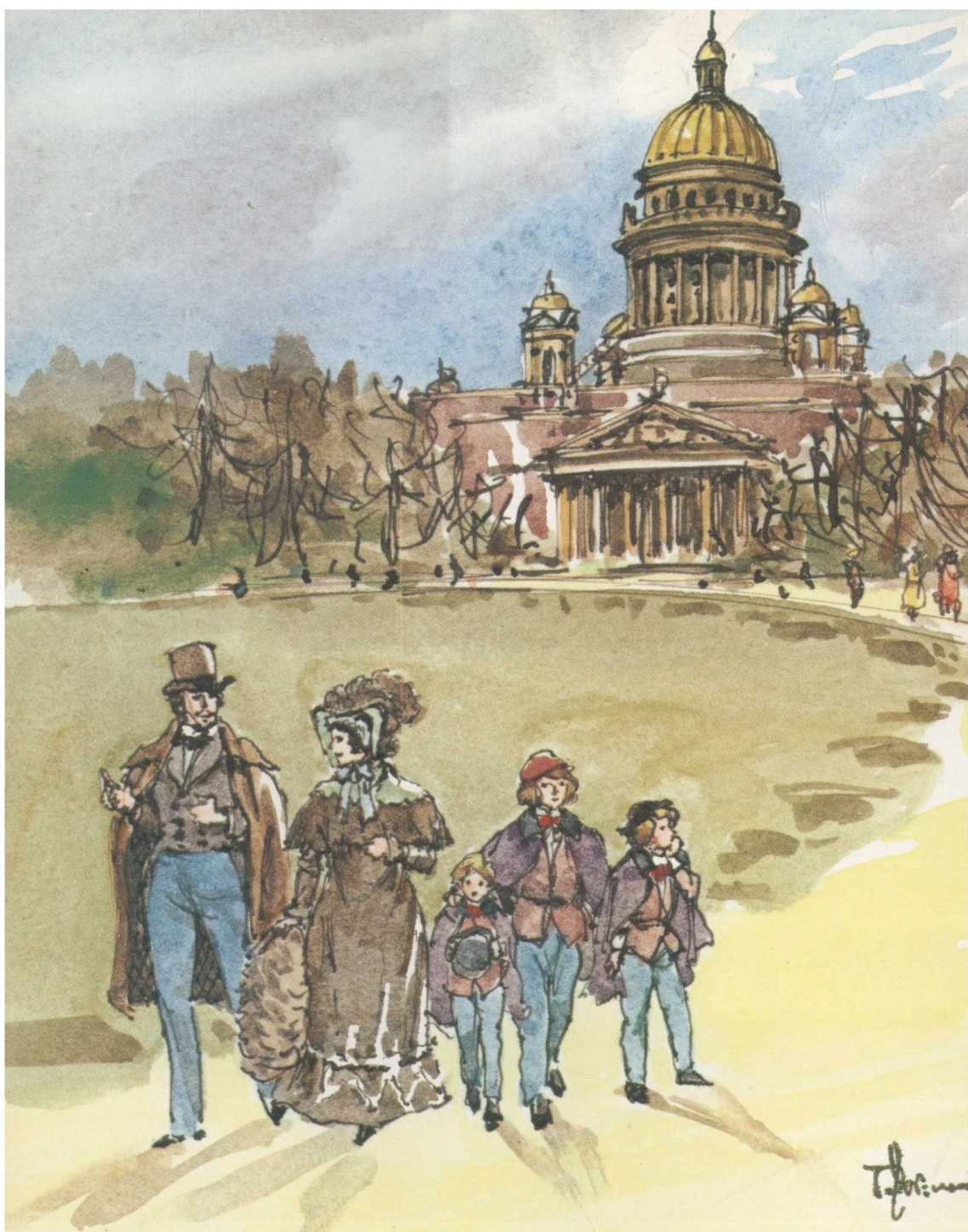
文・砂田 弘

絵・駒宮 録郎



主婦の友社版

デザイン 駒宮録郎
装丁



いっか^なが^{ふな}長い船旅を終えて、ようやく着いたペテルブルグ
の町^{まち}には、高い寺院の塔^{たか}がそびえ、町^{まち}には石^{いし}づくりのた
きな建物^{たてももの}が、ならんでいました。



のことを語り合ったりしました。



アルフレッドはパリの^{まち}で、ひとりの^{うつく}美しい^{しょうじょ}少女に^あ会い、
たちまちそのとりこになりました。ふたりはマロニエの
なみ^{きみち}木道をさんぽしたり、セーヌ^{がわ}川のほとりで^{しょうせつ}小説や^し詩



グリセリン^{かやく}火薬は、役に^{やく}立つ^たなあ。」人^{ひと}びとの^め目が、いっ
せいに、ノーベル^{おや}親子^この^{はつめい}発明^{めい}にむけられました。



その年のくれ、ニトログリセリンが、はじめてアナベル
イ鉱山^{こうざん}で使^{つか}われました。火薬^{かやく}が鉱山^{こうざん}に使^{つか}われたのはこれ
が、はじめてでした。「きばくそうちをつけた、ニトロ



薬の発明は、かえって人類をすくうことになる。」ノーベルは自分にそういきかせて、研究に打ちこむのでした。



アルフレッドの頭の中には、「強力な武器を持つ国へは、
だれも戦争をしかけてこないだろう。」という父の言葉が
生きていました。「そうだ、ダイナマイトやゼラチンばく



いそがしい^{けんきゆう}研究のひまをさいて、アルフレッドがようす
をみにいくと、少女^{しょうじょ}は、うれしなみだをうかべて、よろ
こぶのでした。

みなさんへ

みなさんは、アルフレッド・ノーベルといえば、すぐ、ノーベル賞を思い出すでしょう。

でも、ノーベル賞とダイナマイトを、むすびつけて、考えたことがありますか。ノーベルが発明したダイナマイトは、世の中のために、大そう役に立ちました。けれど、戦争にも使われて、多くの命が失われました。

世界の平和を願っていた、心のやさしいノーベルは、自分の手で、おそろしい兵器をつくり出したのですから、どんな気持ちになったでしょう。

ノーベルは、さい産をぜんぶなげ出して、ノーベル賞をつくりました。では、なぜ、そうしたのでしょう。

この本には、ダイナマイトを発明するまでの苦労や、その後の心のなやみなどの話が、書いてあります。お読みになれば、きっと、みなさんは、大発明家のノーベルが、どんな人物だったか、よく、おわかりになると思います。

山下 喬子

もくじ

發明家^{はつめいか}のむすこ

からだの弱い子

15

ペテルブルグ

22

ノーベル工場

30

科学者への道

40

クリミア戦争

48

いそがしい日々

56

新しい火薬^{あたらしいかやく}

ニトログリセリンの研究

65

アルフレッドの病氣

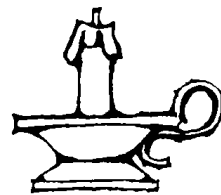
76

成功した実験

82

小さなノーベル工場	90
ゆるして、エミール	98
世界を目ざして	106
世界に平和を	113
きょうふのばく発じけん	113
ダイナマイトとゼラチンばくだん	122
バクーの油田	130
むえん火薬パリスタイト	138
なさけぶかい心	142
平和への道	149
ノーベル賞とともに	156
あとがき	164
年表	168

発明家のむすこ



からだの弱い子

「アルフレッド、さあ、本をしまつて、食事のしたくを手つだつてちょうだい。」
台所から、母がよびました。

「うわあ、いいにおい。肉だんごだね、おかあさん。」